大分県リハビリテーション支援センター事業報告書

【県の概況】 市町村数：18 市町村 二次保健医療圏域数： 9 高齢化率：33.9%（R4.10）
【体制】 県リハ支援センター：1 か所 地域リハ広域支援センター：11 か所
【地域リハビリテーション主管課】大分県福祉保健部健康増進室

（1）地域リハビリテーション広域支援センター等への支援
１．リハビリテーション技術の研修
第 20 回大分県リハビリテーション支援センター・
大分県地域リハビリテーション研究会合同研修会
実施日：令和５年７月８日（土） 13：00 受付 13：30～16：30
全体テーマ：「これからの地域リハビリテーションの創造」
１）大分県の取り組み報告
大分県健康づくり支援課
テーマ：おおいた心と体の職場環境改善アドバイザー派遣事業について
２）講演１：「地域リハビリテーション 温故知新」
講師：松坂 誠應 氏
（長崎リハビリテーション病院 センター長/地域リハビリテーション協議会 会長）
３）講演２：「大分県の地域リハビリテーションの進化に向けて」
講師：武居 光雄 氏（諏訪の杜病院 院長/大分県地域リハビリテーション研究会 会長）
会 場：大分県消費生活男女共同参画プラザ アイネス大会議室と web によるハイブリッド
対 象：リハビリテーション関係者
参加者数：会場 23 名 web 40 名 計 63 名

２．令和５年度 第 12 回大分 JRAT 災害リハビリテーション研修会
実施日：令和５年６月 17 日（土） 13：15 受付 13：30～17：30
研修内容：災害リハビリテーション基礎研修
講 師 ：佐藤 亮 氏（山鹿温泉リハビリテーション病院総合リハビリテーション部部長
熊本 JRAT 事務局次長）
会 場： J:COM ホルトホール大分 303 会議室
対 象：大分 JRAT 活動支援員 広域支援センター災害リハ担当者
災害時リハビリテーション支援に興味があるリハビリ関連職種
参加者数：35 名

３．令和５年度 第 13 回大分 JRAT 災害リハビリテーション研修会
実施予定日： 令和５年 12 月 9 日 （土）13：15 受付開始 13：30～17：30
10 日（日）9 ：15 受付開始 9：30～13：30
研修内容：REHUG ファシリテーター養成研修
JRAT 現地対策本部運営研修会
講 師：佐藤 亮 氏（山鹿温泉リハビリテーション病院総合リハビリテーション部部長
熊本 JRAT 事務局次長）

会　場：コンパルホール 303　305 会議室
対　象：大分 JRAT 活動支援員　広域支援センター災害リハ担当者
　　災害時リハビリテーション支援に興味があるリハビリ関連職種
参加者数：9 日 13 人　10 日 11 人

４．令和５年度　第 14 回大分 JRAT 災害リハビリテーション研修会
実施予定日：令和 6 年 2 月 16 日（金）19：00～20：45　（18：30 入室開始）
研修内容：災害時の支援団体について学ぼう①
　　災害時における保健所機能と DHEAT について
講　師：池邉 淑子 氏（大分県福祉保健部感染症対策課課長）
活動報告：大分 JRAT 令和 6 年能登半島地震での災害支援活動
報 告 者：高橋 良知 氏（介護老人保健施設　清流荘/理学療法士）
会　場：オンライン
対　象：大分 JRAT 活動支援員　広域支援センター災害リハ担当者
　　災害時リハビリテーション支援に興味があるリハビリ関連職種
参加者数：56 人

５．地域リハビリテーション研究会研修会（大分県リハビリテーション支援センター共催）
テーマ：災害時における医療チームの取り組み
日時　：令和 6 年 3 月 10 日（日）9：30～12：30
場所　：大分県消費生活・男女共同参画プラザ　アイネス　大会議室とオンライン
講演１：大規模災害を踏まえた大分県での当会の取り組み
演者　：公益社団法人 大分県臨床工学技士会
講演２：大分 JRAT 令和 6 年能登半島地震後の支援活動報告
　　~PT・OT・ST それぞれの立場から~
演者　：佐藤友美　湯布院病院/大分 JRAT 事務局
　　高橋隆一　中村病院/大分 JRAT 事務局
　　菅雅史　　湯布院病院/大分 JRAT 事務局
　　山本周平　湯布院病院/大分 JRAT 事務局
参加者数：会場 48 名　オンライン 42 名

(2) 新たなリハビリテーション技術の研修等
１）地域リハ実践研修①
テーマ：顔から始まるコミュニケーション
講　師：間々田　佳子 氏（株）ままだよしこメソッド
日　時：令和５年８月８日（火）19：00～20：30
会　場：オンライン　（湯布院病院から配信）
対　象：地域リハビリテーション関係者
参加者数：52 名

２）地域リハ実践研修②
テーマ：下肢関節疾患に対するリハビリテーション

講　師：加来　信広　氏　大分大学医学部整形外科　教授
日　時：令和 5 年 11 月 1 日（水）　18：00～19：30
会　場：オンライン　（湯布院病院から配信）
対　象：地域リハビリテーション関係者
参加者数：89 名

３）地域リハ実践研修③
テーマ：自動車運転と移動支援のリハビリテーション研修会
講　演：自動車運転と移動支援のリハビリテーション
講　師：澤田 辰徳 氏（東京工科大学　教授/ 作業療法士）
ワークショップ：事例から学ぶ 自動車運転再開支援
事例提供者：岩井中 瑛梨　氏（別府リハビリテーションセンター / 作業療法士）
日　時：令和 6 年 1 月 20 日（土）14：00～17：00
会　場：J:COM ホルトホール大分 409 会議室とオンラインのハイブリッド研修
※ワークショップは会場のみ
対　象：地域リハビリテーション関係者
参加者数：会場 21 名　オンライン 24 名

４）　令和５年度　地域リハ広域支援センター主催地域リハビリテーション研修会
ｉ）中部圏域大分地域主催研修（井野辺病院）
テーマ：令和 5 年度第一回脳卒中セミナー
日　時：令和 5 年 5 月 13 日（土）15：00～16：45
講演１：脳卒中の今を識る
講　師：平野　照之氏　杏林大学医学部附属病院　脳卒中医学　教授
講演２：脳卒中外科治療の今昔
講　師：森岡　基浩氏　久留米大学病院　脳神経外科　教授
場　所：大分銀行宗麟館＋オンラインのハイブリッド
対象者：地域リハビリテーション関係者
参加者：会場 57 名　オンライン 14 名

ⅱ）中部圏域大分地域主催研修（大分リハビリテーション病院）
テーマ：令和 5 年度中部圏域大分地域リハビリテーション広域支援センター研修会
日　時：令和 5 年 11 月 12 日（日）10：30~12：00
講　演：骨盤底筋ケアでシニアスターの健康課題を解決！
講　師：西田　純一氏　大分中村病院　医師
織田　真由美氏　大分中村病院　理学療法士
場　所：大分リハビリテーション病院通所リハ＋オンラインのハイブリット
対象者：地域リハビリテーション関係者
参加者：対面 40 名　オンライン 13 名

ⅲ）東部圏域別杵速見地域主催研修

① 実 施 日：令和 5 年 10 月 13 日（金）18：30～19：30
テーマ：在宅療法を中断せずに住み慣れた地域で暮らしつづけるために
～訪問看護師の立場から～
講　　師：松川　玉江氏　高月　智恵子氏
一般社団法人　湯のまち訪問看護ステーション　看護師
開催方法：Zoom によるオンライン研修および WEB による動画配信
参加者数：オンライン研修：18 名　　動画視聴回数：77 回
② 実 施 日：令和 5 年 8 月 2 日（水）他、計 9 回
テーマ：　出前講座
今日からできる！介護者の体を守る腰痛予防
今日からできる！廃用を防ぐ介護予防体操
今日からできる！楽しく「食べる」を続けるための工夫
今日からできる！楽な寝返り・起き上がり・移乗介助方法
講　　師：別府リハビリテーションセンター　理学療法士・作業療法士・言語聴覚士
開催方法：各施設および事業所
参加者数：130 名

(3) リハビリテーションに関する調査・研究
1）関係団体、医療機関との連絡・調整
方　法：三者会議並びに拡大運営会議等の開催による連携構築
会　場：オンライン
内　容：県センターと広域支援センター、関係機関との連携体制の調整
ⅰ）三者会議　令和 5 年 5 月 23 日（火）13：30~15：30
令和 5 年 11 月 28 日（火）13：30~15：30
ⅱ）拡大運営会議　令和 5 年 6 月 8 日(木)
ⅲ）大分 JRAT 事務局会議　令和 5 年 6 月 14 日（水）19：00~20：00
令和 5 年 9 月 14 日（木）19：00~20：00
令和 5 年 10 月 17 日（火）19：00~20：00
ⅳ）大分 JRAT 緊急世話人会　　令和 6 年 1 月 11 日（木）18：00~19：00
ⅴ）大分県総合防災訓練への参画
・第 1 回実行委員会
日時：令和 5 年 9 月 22 日（金）14：00～16：00
場所：佐伯市総合運動公園　体育館
参加者：大分 JRAT 事務局
日隈武治（大分県 OT 協会）　宮下祐介（津久見中央病院）
鍬田翼　佐藤友美（湯布院病院）
・第 2 回実行委員会
日時：令和 6 年 2 月 9 日（金）10：30~11：30
場所：佐伯市　保健福祉総合センター和楽
参加者：日隈武治（大分 JRAT 事務局/大分県 OT 協会）

・津久見市実行委員会

日時：令和 5 年 10 月 10 日（火）,11 月 2 日（木）14：00～16：00

場所：津久見市社会福祉協議会

参加者：大分 JRAT 事務局　日隈武治（大分県 OT 協会）　佐藤友美（湯布院病院）

・大分県総合防災訓練

日時：令和 5 年 11 月 12 日（日）9：00~11：00

場所：①佐伯市屋内運動広場前　本部

活動員：山本周平　佐藤友美（県リハ：湯布院病院）

江藤朝樹　小野隼史　河村典邦（佐伯：長門記念病院）

②津久見市大友町展望台　本部

活動員：迫頭友美（県リハ：湯布院病院）

中翔一郎（宇佐高田：佐藤第一）

瀬々敬仁　山本和也（別杵速見：別府リハビリテーションセンター）

③津久見市第一中学校　避難所開設運営訓練

活動員：鍬田翼　高嶋一慶（県リハ：湯布院病院）

高橋隆一（大分 JRAT 事務局：中村病院）

右田雅那　杜多洋彦（東国東：国東市民病院）

ⅵ）大分県大規模地震医療活動訓練キックオフ会議（DIG 訓練）

日時：令和 5 年 6 月 2 日（金）13：00～18：00

場所：大分県医師会館

参加者：日隈武治（大分県 OT 協会）　高橋隆一（大分県 PT 協会）

本田伊織　佐藤友美（湯布院病院）

Ⅶ）大分県大規模地震医療活動訓練

日時：令和 5 年 9 月 30 日（土）12：30～17：00（全体は 9：00~18：00）

場所：大分県庁防災危機管理室

オブザーバー参加者：日隈武治（大分県 OT 協会）　菅雅史（湯布院病院）

２）関係団体会議等への出席

・都道府県リハ支援センター会議

日時：令和 5 年 10 月 26 日（木）17:00～18:00

場所：オンライン

参加者：佐藤友美　吉村修一

・地域 JRAT 代表者会議

日時：令和 5 年 7 月 14 日（金）18：30～20：00

令和 5 年 11 月 10 日（金）18：30～19：30

場所：オンライン

参加者：迫頭友美　佐藤友美

・大分 DWAT　第 6 回災害福祉支援ネットワーク会議

日時：令和 5 年 6 月 20 日（火）10：30～12：00

場所：オンライン

参加者：佐藤友美　鍬田翼

・大分 DWAT　第 7 回災害福祉支援ネットワーク会議

日時：令和 6 年 2 月 22 日（木）13：30～15：00

場所：オンライン

参加者：佐藤友美

・保健医療福祉に係る災害派遣チーム意見交換会

日時：令和 6 年 3 月 5 日（火）18：00～20：00

場所：大分県庁舎本館 2 階　正庁ホール

参加者：針秀太　佐藤友美

３）人材派遣

・地域ケア会議（由布市、九重町、玖珠町、豊後高田市、佐伯市、宇佐市、中津市、豊後大野市）

PT：13 件

OT：21 件

ST：15 件　　計 49 件

・由布市健康応援団（由布市：一般介護予防事業）

PT：　9 件

OT：　3 件

ST：　3 件　　計 15 件

・由布市高齢者保健福祉計画　第 9 期介護保険事業計画　地域支援事業　作業部会

日時：令和 5 年 10 月 16 日（月）15：00～17：30

令和 5 年 10 月 31 日（火）14：00～17：00

場所：由布市庄内庁舎

派遣者：佐藤友美

・令和 5 年度由布圏域介護予防検討会

日時：令和 5 年 4 月 17 日（月）10：00～11：30

令和 5 年 6 月 21 日（水）15：00～17：00

場所：由布市庄内庁舎

派遣者：佐藤友美

・令和 5 年度地域・職域連携推進会議

日時：令和 5 年 7 月 4 日（火）10：00~11：30

場所：オンライン

派遣者：佐藤友美

・令和 5 年度大分県運転免許センターとの合同連携会議

日時：令和 5 年 11 月 8 日（水）　16：00～17：30

場所：大分県運転免許センター

派遣者：木村暢夫

・大分県社会福祉協議会　ボランティアスタッフ研修会

日時：令和 6 年 1 月 23 日（火）10：00～12：00

場所：大分県社会福祉協議会

派遣者：加藤祐里

・令和 5 年度　大分県高次脳機能障がい相談支援体制連携調整委員会

日時：令和 6 年 1 月 24 日（水）15：00～16：30

場所：大分県こころとからだの相談支援センター

派遣者：針秀太（代理出席：佐藤友美）

・こころとからだの職場環境改善アドバイザー派遣事業

日時：令和 6 年 2 月 27 日（火）

場所：由布市内事業所

派遣者：本城悠太　佐藤友美

大分災害リハビリテーション推進協議会（大分 JRAT）　令和５年度　事業報告

1．令和5年度事業

1）平時活動

【人材育成（研修会：再掲）】

①令和５年度　第 12 回大分 JRAT　災害リハビリテーション研修会

実施日：令和５年６月 17 日（土）　13：15 受付　13：30～17：30

研修内容：災害リハビリテーション基礎研修

講　師　：佐藤 亮 氏（山鹿温泉リハビリテーション病院総合リハビリテーション部部長
熊本 JRAT 事務局次長）

会　場： J:COM ホルトホール大分　303 会議室

対　象：大分 JRAT 活動支援員　広域支援センター災害リハ担当者
災害時リハビリテーション支援に興味があるリハビリ関連職種

参加者数：35 名

②令和５年度　第 13 回大分 JRAT　災害リハビリテーション研修会

実施予定日： 令和５年 12 月 9 日　（土）13：15 受付開始　13：30～17：30
10 日（日）9　：15 受付開始　9：30～13：30

研修内容：REHUG ファシリテーター養成研修
JRAT 現地対策本部運営研修会

講　師：佐藤 亮　氏（山鹿温泉リハビリテーション病院総合リハビリテーション部部長
熊本 JRAT 事務局次長）

会　場：コンパルホール 303　305 会議室

対　象：大分 JRAT 活動支援員　広域支援センター災害リハ担当者
災害時リハビリテーション支援に興味があるリハビリ関連職種

参加者数：9 日 13 人　10 日 11 人

③令和５年度　第14回大分JRAT災害リハビリテーション研修会

実施予定日：令和６年２月16日（金）19：00～20：45　（18：30入室開始）

研修内容：災害時の支援団体について学ぼう①

災害時における保健所機能とDHEATについて

講　師：池邉 淑子 氏（大分県福祉保健部感染症対策課課長）

活動報告：大分JRAT令和６年能登半島地震での災害支援活動

報 告 者：高橋 良知 氏（介護老人保健施設　清流荘/理学療法士）

会　場：オンライン

対　象：大分JRAT活動支援員　広域支援センター災害リハ担当者

災害時リハビリテーション支援に興味があるリハビリ関連職種

参加者数：56人

【組織運営】

①大分JRAT事務局会議　令和５年６月14日（水）19：00～20：00

令和５年９月14日（木）19：00～20：00

令和５年10月17日（火）19：00～20：00

②大分JRAT緊急世話人会　令和６年１月11日（木）18：00～19：00

【普及啓発・他団体との連携】

①大分県総合防災訓練への参画

・第１回実行委員会

日時：令和５年９月22日（金）14：00～16：00

場所：佐伯市総合運動公園　体育館

参加者：大分JRAT事務局

日隈武治（大分県OT協会）　宮下祐介（津久見中央病院）

鍬田翼　佐藤友美（湯布院病院）

・第２回実行委員会

日時：令和６年２月９日（金）10：30~11：30

場所：佐伯市　保健福祉総合センター和楽

参加者：日隈武治（大分JRAT事務局/大分県OT協会）

・津久見市実行委員会

日時：令和５年10月10日（火）,11月２日（木）14：00～16：00

場所：津久見市社会福祉協議会

参加者：大分JRAT事務局　日隈武治（大分県OT協会）　佐藤友美（湯布院病院）

・大分県総合防災訓練

初めての総合防災訓練への参画となった。広域支援センター災害リハ担当：CBR チームメンバーが大分JRATとして活動する機会となった。

日時：令和５年11月12日（日）９：00～11：00

場所：ｉ）佐伯市屋内運動広場前　本部

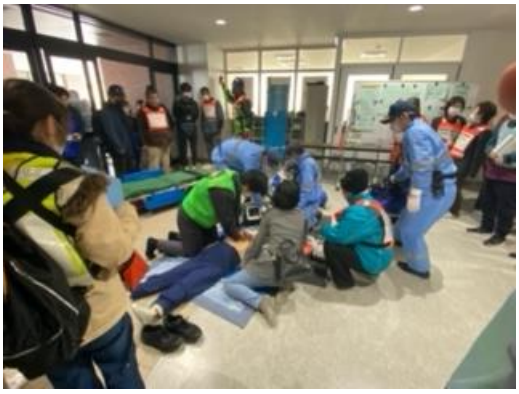
活動員：山本周平　佐藤友美（県リハ：湯布院病院）
江藤朝樹　小野隼史　河村典邦
（佐伯：長門記念病院）
内容：啓発ブースでの広報活動

ⅱ）津久見市大友町展望台　本部
活動員：迫頭友美（県リハ：湯布院病院）
中翔一郎（宇佐高田：佐藤第一）
瀬々敬仁　山本和也
（別杵速見：別府リハビリテーションセンター）
内容：津久見市対策本部での啓発活動

ⅲ）津久見市第一中学校　避難所開設運営訓練
活動員：鍬田翼　高嶋一慶（県リハ：湯布院病院）
高橋隆一（大分 JRAT 事務局：中村病院）
右田雅那　杜多洋彦（東国東：国東市民病院）
内容：保健師、大分 DWAT、津久見市職員との
避難所開設および要配慮者評価訓練

②大分県大規模地震医療活動訓練キックオフ会議（DIG 訓練）
日時：令和 5 年 6 月 2 日（金）13：00～18：00
場所：大分県医師会館
参加者：日隈武治（大分県 OT 協会）　高橋隆一（大分県 PT 協会）
本田伊織　佐藤友美（湯布院病院）
③大分県大規模地震医療活動訓練
日時：令和 5 年 9 月 30 日（土）12：30～17：00（全体は 9：00~18：00）
場所：大分県庁防災危機管理室
オブザーバー参加者：日隈武治（大分県 OT 協会）　菅雅史（湯布院病院）
④別府市防災訓練
日時：令和 6 年 1 月 28 日（日）8：00～12：00
場所：別府市立西中学校
参加者：Dr/池田真一（別府リハ）
PT/瀬々敬仁（別府リハ）
PT/高嶋一慶（湯布院病院）

ST/山本周平（湯布院病院）
PT/鍬田翼（湯布院病院）



内容：地域住民主体の避難所開設、運営の評価者として役割を与えられ、車椅子ユーザーや配慮が必要な方への対応を協議した。急患対応、要配慮者の福祉避難所への移動判断なども行った。

また、自主防災組織の皆様に向け、災害関連死を防ぐための災害リハ啓発講話を行った。

⑤地域 JRAT 代表者会議

日時：令和 5 年 7 月 14 日（金）18：30～20：00
令和 5 年 11 月 10 日（金）18：30～19：30
場所：オンライン
参加者：迫頭友美　佐藤友美

⑤大分 DWAT　第 6 回災害福祉支援ネットワーク会議

日時：令和 5 年 6 月 20 日（火）10：30～12：00
場所：オンライン
参加者：佐藤友美　鍬田翼

⑥大分 DWAT　第 7 回災害福祉支援ネットワーク会議

日時：令和 6 年 2 月 22 日（木）13：30～15：00
場所：オンライン
参加者：佐藤友美

⑦保健医療福祉に係る災害派遣チーム意見交換会

日時：令和 6 年 3 月 5 日（火）18：00～20：00
場所：大分県庁舎本館 2 階　正庁ホール
参加者：針秀太　佐藤友美

【R スタッフ養成について】

2名が本部開催の研修を受講し、R スタッフとして本部 JRAT からの委嘱を受けた。
これにより、大分 JRAT の R スタッフ登録は 7 名となった。
新規登録者
・鍬田翼（JCHO 湯布院病院　理学療法士）
・材木充輝（JCHO 湯布院病院　理学療法士）

2)有事対応

【令和 6 年能登半島地震での活動について】

概要:令和 6 年 1 月 1 日に発災した能登半島地震では、甚大な被害が発生し、多くの方が長期の避難生活を余儀なくされた。大分 JRAT は 2 日から有事体制を取り、本部からの派遣要請に備えた。1 月 5 日、R スタッフの派遣要請を受け、初動チームとして 1 名をエントリーした。翌日には派遣が決定している。全国の地域JRATへの派遣要請に応じ、1 月末～3 月末までに、3 チーム 12 名と現地ロジ、東京ロジに 1 名ずつ、計 15 名を派遣した。時系列の詳細は表1に示す。

	一般社団法人 日本災害リハビリテーション支援協会 JRAT	大分災害リハビリテーション推進協議会 大分 JRAT
1/1(月)	能登半島地震発災 被災県等の地域 JRAT にメール発信	
2(火)		災害対策準備室設置
4(木)	JRAT 中央災害対策本部設置 石川 JRAT が県医療福祉調整本部に入る	緊急会議開催 災害対策本部設置
5(金)	JRAT-RRT 派遣開始 見舞文を HP 掲載	材木 PT（湯布院病院）を JRAT-RRT メンバーとして派遣決定
7(日)	地域 JRAT 緊急代表者会議開催	地域 JRAT 緊急代表者会議出席
8(月)	石川県と石川 JRAT が災害リハ協定締結	
9(火)	地域 JRAT 緊急代表者会議開催	地域 JRAT 緊急代表者会議出席
10(水)		材木 PT（湯布院病院）を JRAT-RRT 要員として派遣、避難所支援活動にも従事（～1/12）
11(木)	厚生労働省 事務連絡 「令和 6 年能登半島地震における医師等の保健医療従事者の派遣及び薬局における調剤に係る費用の取扱いについて」	
15(月)		関係団体に対する協力依頼文書・希望者向け説明会、案内の発出
18(木)	JRAT 支援経過概説（2 週経過）を HP 掲載	
19(金)	近藤副代表が NHK ニュースで生活不活発病予防について説明	
19(金)	厚生労働省 事務連絡 「令和6年能登半島地震における医療機関等に対する JRAT 派遣要請についてのご協力のお願い（周知依頼）」	
2(月)		支援活動希望者向け説明会開催（77 名）
23(火)	地域 JRAT 緊急代表者会議開催	地域 JRAT 緊急代表者会議出席
2/1(木)		第 1 隊現地支援（1 日～3 日まで）
4(日)	第 1 回 JRAT 週末報告会	左記報告会出席

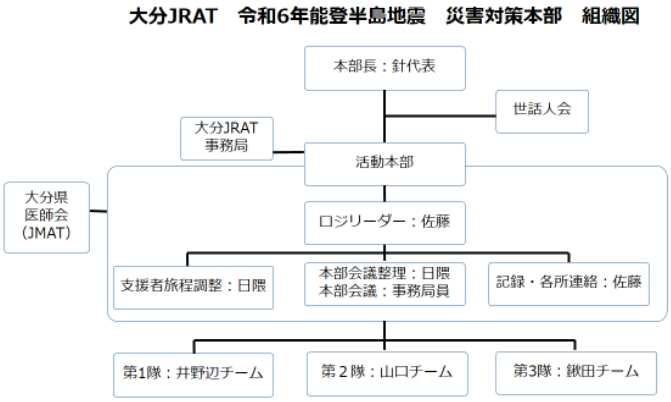
6（火）		第 1 隊から 2 隊への申し送り会@zoom
9（金）		第 2 隊　現地支援（9 日～11 日まで）
11（日）	第 2 回 JRAT 週末報告会	左記報告会出席
18（日）	第 3 回 JRAT 週末報告会	左記報告会出席
25（日）	第 4 回 JRAT 週末報告会	左記報告会出席
26（月）		第 2 隊から 3 隊への申し送り会@zoom
3/3（日）	第 5 回 JRAT 週末報告会	左記報告会出席
8（金）		高嶋 PT　石川本部ロジ派遣（9～11 日）
10（日）	第 6 回 JRAT 週末報告会	左記報告会出席
11（月）		佐藤 OT 中央対策本部ロジ派遣（11 日～14 日）
17（日）	第 7 回 JRAT 週末報告会	左記報告会出席
21（木）	活動員費用弁済説明会	左記報告会出席
24（日）	第 8 回 JRAT 週末報告会 JRAT 活動が 4 月 12 日で停止。4 月末をもって撤収と報告あり	左記報告会出席
4/3（水）	内閣府特命担当相松村氏に要望書提出	
7（日）	第 10 回 JRAT 週末報告会	左記報告会出席
10（水）		費用弁済申請完了（大分 JRAT 活動員分）
14（日）	第 11 回 JRAT 週末報告会（最終回）	左記報告会出席
17（水）		大分 JRAT 事務局会議
23（火）		令和 5 年度大分jRAT 世話人会（延期分）
25（木）		県リハ　三者会議にて県、広域支援センターに活動報告
30（火）	能登半島地震における JRAT 活動は終了	災害対策本部　閉鎖

【大分JRATの災害対策本部の組織図とロジ活動】

本部長を針代表とし、派遣については世話人会を通して決定した。

ロジは、本部 JRAT からの情報を整理し、派遣要請に応じて活動員の募集、マッチング、旅程や必要機材の調整を行った。派遣前のチームの顔合わせや前チームからの申し送りはオンラインにて実施した。

現地活動中は随時状況を把握し、活動状況を関係者に主にメールにて報告した。



【派遣チームメンバーと活動場所、活動内容】

1. R-スタッフ:材木充輝(湯布院病院:PT)
派遣期間:1 月 9 日～13 日(中 3 日間活動)
活動場所:穴水町、輪島市、石川本部
活動内容:避難所初期アセスメント、本部ロジ

↑発災直後で、避難所周辺の危険個所多数。
まだ雪も残り、厳しい状況であった。

↑活動の様子が NHK ニュースで報道された

↑左から高橋（龍）高橋（知）　井野辺　菅（敬称略）
奥能登地域への支援を開始した時期の派遣となった

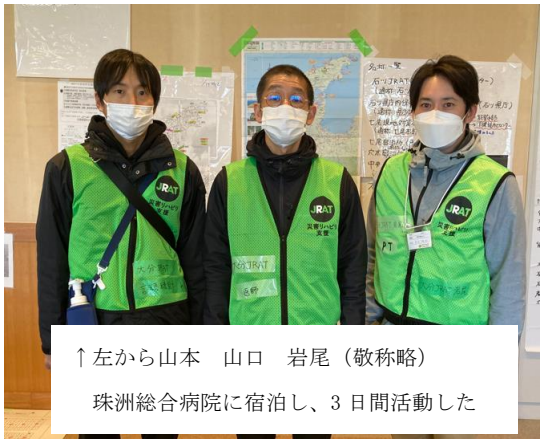
2. 第 1 隊:井野辺チーム
メンバー:井野辺純一(井野辺病院:Dr)
高橋知良(介護老人保健施設　清流荘:PT)
高橋隆一(中村病院:PT)
菅雅史(湯布院病院:OT)
活動期間:1 月 31 日～2 月 4 日
活動場所:いしかわスポーツセンター(1.5 次避難所)　輪島市
活動内容:避難者診察・評価、避難所アセスメントと調整、情報統制

↑いしかわスポーツセンター（1.5 次避難所）JRAT ブース

→断水のため循環式シャワーテントが多く導入された。
安全な出入り方法を評価

↑避難所の出入り口周辺は亀裂や
ズレが多数あった。安全策を評価。

3. 第2隊:山口チーム
メンバー:山口豊(長門記念病院:Dr)
岩尾誠也(宇佐高田医師会病院:PT)
山本周平(湯布院病院:ST)
活動期間:2 月 8 日～12 日
活動場所:珠洲市
活動内容:要配慮者対応(避難所、自宅避難者宅)、
避難所環境調整



↑左から山本　山口　岩尾（敬称略）
珠洲総合病院に宿泊し、3 日間活動した

↑屋外の仮設トイレの
転倒リスク評価

↑医師による健康状態の問診

↑夕方の保健医療福祉調整本部会議

3. 第3隊:鍬田チーム

メンバー:鍬田翼(湯布院病院:PT)
田中とも(大分岡病院:PT)
中翔一郎(佐藤第一病院:PT)
大戸真(佐藤第一病院:OT)
大江文子(訪問看護ステーションりぼん:OT)

活動期間:3 月3日～7 日

活動場所:珠洲市

活動内容:住民主体の体操啓発　段ボールベッド評価
撤退に向けた準備

↑左上から　三上（石川 JRAT）　鍬田　中　大戸
田中　大江（敬称略）

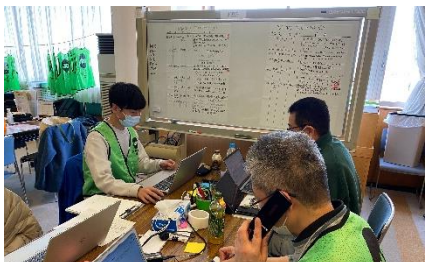
↑珠洲市調整本部内 JRAT ブースで打ち合わせ

↑発災から 2 か月が経過し、段ボールベッドの劣化あり。補修点検を担う。

↑朝の調整本部会議前は医療チーム毎に決められた箇所のそうじを実施

4. 石川本部ロジ

派遣者:高嶋一慶(湯布院病院:PT)
活動期間:3 月8日～12 日
派遣場所:石川 JRAT 災害対策本部
活動内容:本部ロジスティクス



↑石川県リハビリテーションセンター内でロジ業務に従事。左上が高嶋

↑石川 JRAT 佐賀対策本部会議の様子

5. 東京中央本部ロジ

派遣者:佐藤友美(湯布院病院:OT)
活動期間:3 月 11 日～15 日
派遣場所:日本リハビリテーション施設協会事務所
活動内容:中央対策本部ロジスティクス

↑中央対策本部の様子。朝は石川とオンラインで会議
派遣時のタスクは費用弁済スキームのたたき台作成等

【総括】

令和5年度の大きな変化のひとつは、大分県総合防災訓練への参画が可能となったことである。この活動に、広域支援センターの災害リハを担う担当者によって構成される「CBR チーム」から多くの参加者が集まり、地域住民や行政、他の支援チームへ啓発活動が行えたこと、避難所訓練ができたことは、今後の有事への備えとして大きな一歩となった。そして、二つ目は、令和 6 年元旦に発災した能登半島地震に対する支援活動である。今回は、複数施設のスタッフからなるチームを編成し、遠方への支援に向かうことができた。多くの皆様のご協力に感謝を申し上げる。石川県の一日も早い復興を祈るとともに、自分事として災害と向き合う活動を継続していく。